

2018年

安全報告書

□山形県月山スキー場
特殊索道 月山ペアリフト

□山形県西川町民スキー場
特殊索道 西川町民スキー場リフト

月山観光開発株式会社

1、ご利用者の皆様へ

山形県月山スキー場及び西川町民スキー場をご愛顧賜りまして、誠に有難うございます。

平成22年3月に発生した東日本大震災及び東電福島第一原発事故から7年目を迎えます。平成29年には九州その他の地域で豪雨や台風等による大きな災害が発生し、被災された地域の皆様に改めてお見舞いと早期復旧・復興をご祈念申し上げます。

月山スキー場は4月9日にオープンし、月山を愛する多くのスキーヤー・ボーダーをお迎えすることができました。例年より降雪量に恵まれ7月上旬まで姥ヶ岳大斜面の滑走ができ、皆様にお楽しみいただきました。また、2018平昌五輪の月山強化合宿としてSAJモーグルキャンプに二度ご利用いただき、大会での好成績をご期待申し上げます。

グリーン期は7月に夏山開きし、「百名山月山」として360種類のフラワートレッキングや、出羽三山信仰の道として月山神社参拝、精神文化体験カルチャ、各種トレッキングに多くのお客様にご利用いただきました。

特に、前年に出羽三山が日本遺産に認定され、国内外から誘客推進を目指し今後より一層地域が連携し誘客に邁進したいところです。

また、西川町民スキー場は12月から3月まで営業ですが、国道112号の沿線に有りコンパクトなゲレンデで町内外のファンの皆様からご利用いただいております。

「安全報告書2018年」は、平成29年1月より同年12月までの1年間の輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともにさらに広くご理解いただくために公表するものであります。皆様からの「お声」を安全輸送に役立てたく、ご意見・ご要望等をどうぞお気軽に頂戴できれば幸いに存じます。

月山観光開発株式会社

取締役社長 宮林 伸一

2、基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して、輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正・忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いを行います。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な

処置を行います。

- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝えます。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦するよう努めます。

(2) 安全目標

安全目標は、次のとおりであります。目標達成に向け、安全確保を最優先事項として業務に取り組んでおります。

- ① 安全第一を旨とすること。
- ② 誠心誠意でサービス。
- ③ 明るい職場を創ること。
- ④ 健康管理に留意すること。

3、平成29年度事故等の発生状況

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成29年度の索道運転事故はなく、今後も継続して事故防止に努めます。

(2) 災害（地震、暴風雨、豪雪等）

平成29年度の災害による運転停止は、安全確保のため強風・雷等の発生時に運転を見合わせた時間は下記のとおりです。

月山リフト	延べ日数	7日（終日運休）
	延べ時間	93時間（一部時間運休含む）

(3) インシデント（事故の兆候）

平成29年度のインシデントは有りませんでした。今後も継続して安全への取り組みを強化し、事故防止に努めます。

4、輸送の安全確保のための取り組み

(1) 人材教育

社外教育として、東北索道協会等の講習に積極的に参加し、索道技術の習得及び向上に努めております。

(社外教育)

- ① 山形地区部会索道技術研修 平成29年7月11日～12日 1名受講
- ② 東北索道協会技術管理員研修 平成29年9月4日～9月5日 2名受講
- ③ 東北運輸局技術管理者研修 平成29年9月14日～15日 2名受講
- ④ 東北運輸局安全に関するセミナー2017東北
平成29年11月30日 1名受講
- ⑤ 山形地区部会索道管理・監督者リーダー研修
平成29年11月15日 4名受講
- ⑥ 山形地区部会雪上車運転講習会 平成29年12月5日～6日 2名受講

(2) 緊急時対応救助訓練

毎年シーズン営業開始前に、非常時を想定し救助訓練を実施しております。

- ① 月山ペアリフト救助訓練 平成29年6月15日 11名参加
- ② 西川町民スキー場リフト救助訓練 平成29年12月15日 5名参加

(3) 安全のための諸施策

当社では、安全確保および設備の保全を目的に、毎年整備計画を立て実施しております。平成29年度に実施した各設備の主な整備は下記のとおりです。

(月山ペアリフト)

- 5月 ①予備原動機整備、劣化部品の交換
- 6月 ②メーカー（日本ケーブル）による定期点検
- ③ 脱索検出装置断線修理
- ④受索輪交換（4号下り4番、5号下り2番）
- 7月 ⑤脱索検出装置ホルダー交換
- ⑥プロペラシャフト交換
- 9月 ⑦搬器座面ゴム交換
- ⑧3号柱フランジヒーター交換
- 10月 ⑨支柱梯子交換（各損傷箇所）

(西川町民スキー場リフト)

- 11月 ①上駅ステージ板張替え
- ②握索機サラバネ交換（NO.1～NO66）

5、 当社の安全管理体制

当社では、社長を輸送の安全確保に関する最終的な責任者として、常務取締役、安全統括管理者、索道技術管理者及び索道技術管理員を配置し、役割と責任及び権限を明確にした管理体制のもとおこなっております。

- 社長 : 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- 索道事業部長 : 社長を補佐し、社長事故ある時はその職務を遂行する。
- 安全統括管理者 : 索道事業の輸送確保に関する業務を統括する。
- 索道技術管理者 : 安全統括管理者の指揮のもと、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
- 索道技術管理員 : 索道技術管理者の指揮のもと、索道技術管理者の行う業務を補助する。

(安全管理体制組織図をご参照ください)

6、ご利用の皆様へ

当社では、お客様から信頼され、安全で快適なリフトの運転を心がけ事故防止に努めておりますが、お客様の不用意な行動から事故を誘発させることがありますので、次の事項を守り係り員の案内及び支持に従ってください。

- ① 乗降に不慣れなお客様は、係員にお申しつけ下さい。
- ② 横向き乗車及び椅子振る行動は危険ですので、絶対しないでください。
- ③ 途中での飛び降りには危険ですので、絶対しないで下さい。
- ④ 万一リフトが停止したとき、係員の指示があるまでそのままお待ちください。

7、ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見・ご要望などお気付きの点がありましたら、下記へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

(ご連絡先)

- 〒990-0703 山形県西村山郡西川町間沢 59
月山観光開発株式会社
tel : 0237-74-2218 fax : 0237-74-2804
e-mail : gassankk@atlas.plala.or.jp
<http://www.gassankanko.jp/>
- 〒990-0734 山形県西村山郡西川町志津姥沢
月山ペアリフト (索道事業部)
tel&fax : 0237-75-2025
- 〒990-0703 山形県西村山郡西川町間沢 872-3
西川町民スキー場リフト (索道事業部)
tel : 0237-74-4055

